

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人佛教教育学園 佛教大学(仮称)15号館新築工事	階数	地下1F、地上4F
建設地	京都市北区衣笠東園十町26-1,26-2,26-6,26-7,北見町6,7-1,8	構造	S造
用途地域	北:第1種中高層地域・南:第2種住居地域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 0.0	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	3,579 m ²	作成者	中江 哲
建築面積	949 m ²	確認日	
延床面積	3,814 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 北大路通りに面して、勾配屋根・木の外壁といった京都の街並みにふさわしい新たなキャンパスの顔づくり		その他
Q1 室内環境 ポツ窓、横連窓により適切な採光を確保しつつ、外皮からの熱負荷を抑制。明るい色調の内装を採用し、照明照度を抑えながら、最適な室温を設定。	Q2 サービス性能 将来更新しやすい設備計画と建材の採用管理・清掃に適正な諸室、設備の配置	Q3 室外環境(敷地内) 景観配慮したデザインと近隣への配慮した配置計画(東側歩道状空地)
LR1 エネルギー ポツ窓、横連窓により適切な採光を確保しつつ、外皮からの熱負荷を抑制。既存キャンパスと一体的で組織的な運用管理体制。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用、環境配慮した建材の採用	LR3 敷地外環境 近隣住民を配慮した、狭隘な道路に対して建物後退を行い、歩道空地の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される